

未来をひらく教育のつどい二〇一六埼玉集会

秩父地区教育フォーラム全体会



奥田さんの本の表紙から

十一月二〇日、秩父市歴史文化伝承館で開かれ、若い方など多数参加されました。

記念講演に先立ってピアノ演奏による歌、朗読があり会場をなごませてくれました。

講師は奥田愛基さん（SEALDS 創設メンバー 大学院生）。

タイトルは「変える」、一自分を変える 時代が変わる 時代が繋がる。そしてまた、始めよう」と講演を位置づけ、今の自分たち若者の置かれている日本の社会。昨年の安保法制反対の運動にふれ、民主主義ってなんだ」と国会前のデモで社会と世論に訴え運動が広がったこと。

アメリカの大統領選挙の取材の話。いつの時代だつて困難は変わりない、誰かと一緒に力を合わせる、行動をとる、力を合わせれば社会を変えられる。

奥田さんから元気をもらった集いでした。(ト)

暴走する安倍内閣

“五つの大罪”

第一の大罪

憲法違反の安保法制「戦争法」を強行、立憲主義を根底から破壊内戦状態の南スーダンにPKO派遣隊の350人の壮行式が行われ十二月までに派兵されようとしています。

第二の大罪

「アベノミクス」が破綻、日本経済と国民生活を危機に4年にわたる「アベノミクス」が破たんしていることは明らかです。

第三の大罪

「国会決議」すら無視したTPP協定の強行をはかる自ら賛成したことすら無視したTPP協定を、力づくで押し通そうとしています。

第四の大罪

原発事故が収束しないもて、原発再稼働と原発輸出への暴走福島原発事故が終息せず、今なお9万人をこえる方々が避難生活を強いられているにもかかわらず、原発再稼働と原発輸出への暴走をしています。

第五の大罪

沖縄県民の意思を無視した新基地建設の押しつけ沖縄県民の意思を無視して新基地建設を押しつけてきています。世界への「殴りこみ」の一大拠点として強化・固定化しようとしています。

安倍政権の暴走に反対して、戦後かつてない新しい市民運動が豊に発展し、この運動に背中を押されて野党共闘が大きく前進しています。

知子のひとりごと

常山 知子



東京で生活していたときは、車の運転など考えてもみませんでした。家から少し歩けばバス停があり、バスは次から次へと走っていたし、駅へ行くにも買物も歩いて行けました。

それでも、たいした理由もなく、退職する時残っていた休暇を利用して、自動車教習所へ通い何とか免許をとりました。

皆野にもどつて車を運転するようになり、その時の決断をほんとうによかったと思っています。地方で生活するには、マイカーがなければ移動もままならない状況です。

先日、高齢になって免許証を返納した人が「もう、外に出られない、寂しい」とこぼしていました。すうっと車に頼っていた人にとってそれは、つらいことだと思えます。

しかし、それで外出をあきらめてしまつのは残念な気がします。マイカーに頼らなくても、手軽に移動できる町の公共交通、高齢化が進む中、今すぐにも検討を始める必要があるのではないのでしょうか。

野党と市民の共闘で
アベ暴走政治にストップを

生活・法律相談 お気軽にご相談下さい
常山 知子 電話・FAX 62-6733